

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



伊集 悟 議員

問 SNSでのトラブルが多い。悪気がなくても相手が傷つく場合もある。いじめの定義をどう指導し、保護者へはどう説明しているのか。

教育総務課課長 ふうふう言葉、ちくちく言葉という形で言葉遣いの指導をしている。保護者には、いじめ防止対策推進法で被害を受けた側がまずは基準になることを丁寧に説明している。

■不登校は、悩み、苦しんでいる初期の相談対応の強化を。

問 昨年度の小中学校の不登校件数及び昨年対比は。

教育部長 小学校が52名(19人増) 中学校は41名(6人増)。

問 休む前にずっと悩み、半数が誰にも相談できていないという。休む前の段階でもっと対応すべきではないか。

教育部長 現在、3L【LOOK(見る) L【STEN(聞く) L【NK(つなげる)】に取り組んでいる。日常的に一番近い先生方がいかに子供たちを見て声を聞くことで未然防止につながるかと考えている。

■体罰によらないしつけの方法を積極的に啓発を!

問 本町の過去3年間の児童虐待の対応件数を伺う。

福祉部長 令和元年度174件、令和2年度111件、令和3年度230件。

問 体罰容認の保護者が4割もいるという。最近の脳科学の研究では体罰暴言は子供の成長発達に深刻な影響を与えるという。体罰によらないしつけの在り方の浸透に取り組むべきではないか。

福祉部長 4月から母子包括支援センターとこども家庭総合支援拠点の2つの機能を持ったこども家庭センターを設置した。今後、保護者に対して、体罰を行わないようしつけや教育ができるのかを検討したい。

その他の質問

- 教職員の働き方改革
- 議会デジタル化の加速推進

道路行政について

問 県道浦添西原線について、平成28年に中部土木事務所、西原町に請願書を提出、請願書に対して中部土木、西原町、坂田ハイツ自治会道路検討委員会との連絡会議が数回開催された。同道路は坂田ハイツを分断する計画である。約六年経過したが、いまだに解決されていない。町の見解は。



宮里 芳男 議員

建設部長 7月末までに対策工事を実施したい(中部土木事務所)。

坂田ハイツ私道について

問 坂田ハイツ私道を町道へ移管するための検討委員会がコロナ禍で開催されていない。なるべく早く開

催してほしいが、町の見解は。

町長 坂田ハイツ道路等は移管と手続等が今日まで行われていないため、道路維持管理に支障を来している。坂田自治会と管理者が話し合いを行い、調整会議の日程が決まれば西原町も参加していく。

PFOs等の調査について

問 西原浄水場敷地内の湧水よりPFOs等が検出され、町は県に要請書を提出した。(1)地下水汚染の発生源の特定は(2)農作物への影響は(3)新たな地下調査及び定期的な調査実施は。

総務部長 (1)現段階では発生源の特定につながる情報はない(2)国にきちんとした調査基準がないため

道を開き確認申請の許可が下りる形で進めていく。



大田 実 議員

100年の杜構想について

問 西原町は林業に関して恵まれた地域だがほとんど有効に活用されていないと思う。琉球芸能文化である三線にはクロキが欠かせない存在である。そのクロキも現在は輸入せざるを得ず、将来を危惧した読谷村は数年

前からクロキの植樹祭を行っている。クロキの成長は悠久の年月を要するが、子孫への素晴らしい遺産になると考える。西原でも植樹可能か。

公営斎場建設について

問 火葬場建設は過去に場所選定が難航し不成功となっている。仕切り直して西原町、中城村、北中城村一部事務組合を設立しての公営斎場は検討できないか。

町長 議員提案の一町二村による公営斎場建設について両村に問い合わせ

インフラ工事のスピードアップ

問 各地域で行われているインフラ工事の進捗スピードアップが望まれる。県道の道路工事に伴い、8年間仮住まいを余儀なくされる世帯があり賃借料の負担や精神的負担に苦しんでいる。県に対して早急な対応を要望できないか。

町長 県道浦添西原線について、中部土木と土地開発公社に確認をしたところ残地部分の建築許可に向けて地権者と協議中であるとのこと。先に県



この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。